

事業番号	15 06 03	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
		実施期間	H30 ~	E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進 1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり				

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 全ての学校、全ての授業で「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、授業づくりの共通基盤をつくり、授業改善を進め、児童生徒にめざす資質・能力を育む(1-1)。 特色のある学校づくり授業づくりに取り組み、学びの改革を進める学校の拡大を図る。(1-1) 全ての幼児教育施設が遊びを通じた保育を実践することにより、主体的に学ぶ基盤を形成する。(1-1) 信州の豊かな自然を教育資源とした、自然・野外教育プログラムの普及や指導体制の整備により、子どもたちに「自然を通して生き抜く力」を育む(1-2)。 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 多彩な講師を迎えて「学びの改革フォーラム」を実施し、学びの改革を進める学校の拡大を推進 園種を越えて学び合う「信州幼児教育フィールド研修」を実施し、質の高い幼児教育の実現を推進 「豊かな心を育むフォーラム」を実施し、学校・家庭・地域による道徳教育の連携を推進 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 学びの改革実践校応援事業の取組を情報交換会やSNS等で広がってきたが、来年度は最終年度となるため、確実な成果普及を進める必要がある。 信州幼児教育フィールド研修をオンラインで開催したが、研修の目的を見直す必要がある。また、幼児期の遊びで培った主体性等を小学校での学びへ確実につなぐ必要がある。 道徳の教科化により事業推進が一定の成果を収めたため、事業内容を整理する必要がある。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から4年度までの学びの改革実践校の実践を整理し、令和5年度から各校が独自に学びの改革を進められるようにする。 幼児教育に係る研修については、参集型でもオンラインでも研修の目的をより明確にする。また、園種や校種を越えて保育現場から学び合うフィールド研修を充実させる。 道徳教育では「道徳教育パワーアップ研究協議会」に焦点を絞り、効果的・効率的に運営する。 	

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<p>1 3年間にわたる学びの改革実践校における実践の整理と成果の普及・拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学びの改革実践校」を42校指定(延べ111校) ・自校の実態に応じた改革を支援する「改革アドバイザー」 ・自校の改革に生かすための「県内外先進校視察」 ・実践校の取組をSNSを利用し情報発信 ○一流講師による「学びの改革ミニフォーラム」を年4回開催 ・令和3年度は、奈須正裕先生ほかを招聘 ・1月末には参集型のフォーラムを開催 ○各ブロックで定期的に「情報交換会」を開催 <p>2 信州幼児教育支援センターによるフィールド研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「フィールド研修」は目的に応じて、参集型とオンライン型の2本立てで実施 ○保育者のキャリアステージに応じた研修の計画と実施 ○「園・小接続カリキュラムの開発」をテキストとした園小合同の研修会を実施 <p>3 道徳教育パワーアップ研究協議会のリニューアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一定の成果を収めた「道徳教育研究推進校」の新規募集停止 ○一定の成果を収めた「特別の教科 道徳 アシストブック」の新規作成中止とオンライン掲載 ○「道徳教育パワーアップ研究協議会」のリニューアル ・道徳教育実践校による事例紹介 ・文部科学省より講師招聘 ・年1回から年2回へ拡充
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<p>【学びの県づくり】</p> <p>授業改善支援や重点対策チームによる、それぞれの学校の課題に対応したきめ細かな支援を行うとともに、学びの改革実践校応援事業により、個別最適な学びや探究的な学びへの転換に取り組む学校を応援し、その成果を広く普及することで、新しい時代に相応しい確かな学力の育成に努める</p>

指標の状況及び目標値 [△:改善、\:悪化、→:変化なし、-:数値なし]							区分(単位:千円)							
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度			
1	県内の小6児童・中3生徒のうち、全国上位4分の1に含まれる児童・生徒の割合(算数・数学)	%	小6児童:23.3%	—	コロナの影響で実施せず	小6児童:23.9%	小6児童:27.0%	0	127,142	110,417	前年度繰越	0		
			中3生徒:25.0%		中3生徒:24.4%	中3生徒:27.0%	当初予算				99,224			
			小6児童:25.8%		小6児童:22.0%	小6児童:22.0%	補正予算				-10,910	0		
			中3生徒:25.7%		中3生徒:22.0%	中3生徒:22.0%	合計(A)				116,232	110,417	要求 予算案	99,224
			英語コミュニケーション能力		中学生:43.6%	中学生:48.0%	中学生:49.0%				110,728	95,692	86,261	
・CEFR A1相当(中学生)	高校生:40.9%	高校生:45.0%	高校生:46.0%											
4 「自分にはよいところがある」と思う児童・生徒の割合	小学生:82.0%	小学生:78.3%	小学生:79.0%											
中3生徒:74.1%	中3生徒:75.3%	中3生徒:76.8%												
5 組織的・継続的な研修を行っている小・中学校の割合	小学校:98.7%	小学校:98.9%	小学校:95.0%	決算額(B)	40,280									
			中学校:97.8%	中学校:97.9%	中学校:95.0%	職員数(人)	7.0	8.0			8.0			
設定理由	成果指標	<p>1.2.第3次長野県教育振興基本計画において成果指標として設定されており、全国学力・学習状況調査における全国の上位25%、下位25%の児童生徒の割合と本県の児童生徒の割合を比較できるため。</p> <p>3.「長野県英語教育改善プラン」において「CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)」を成果指標の一つとしており、本県生徒の英語力の経年比較が可能であるため。</p> <p>4.第3次長野県教育振興基本計画において成果指標として設定されており、全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査における「自分にはよいところがある」と回答した全国の児童生徒の割合と本県の児童生徒との割合を比較できるため。</p> <p>5.全国学力・学習状況調査の学校質問紙調査における全国の割合と本県の割合とを比較できるため。</p>												
	目標値	<p>1.第3次長野県教育振興基本計画において、令和4年度の目標値を27.0%以上と定めているため。</p> <p>2.第3次長野県教育振興基本計画において、令和4年度の目標値を22.0%以下と定めているため。</p> <p>3.第3次長野県教育振興基本計画において、令和4年度の目標値を45.0%以上と定めているため。</p> <p>4.第3次長野県教育振興基本計画において、令和4年度の目標値を76.8%以上と定めているため。</p> <p>5.高い目標値を設定することで、成果指標に関して高い水準を維持するため。</p>												

事業番号	15 06 03	事業改善シート (令和4年度実施事業分)	<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
1	学びの改革実践校応援事業	4,265 千円	4,096 千円	要求 予算案 3,860 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	学びの改革実践校応援事業	直接	学校のシステム改革や授業改革を目指す学校の拡大を図るため、改革に取り組んでいる学校42校に対し、アドバイザー派遣や先進校への視察研修、情報発信等の支援を実施する。		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
2	幼児教育振興事業費	5,746 千円	5,309 千円	要求 予算案 6,641 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	信州幼児教育支援センターの運営	直接	幼稚園及び保育所等の園種を越えて幼児教育の質の向上を図るため、関係団体との連携、保育者研修の見直し等を実施する。		
2	保育者の資質能力の向上	委託	質の高い幼児教育を実施するため、先進的な取組を行っている幼稚園、保育所及び認定こども園等でフィールド研修を5件委託する。 委託先: 県内の幼児教育施設		
3	幼保小の学びの接続	直接	幼保小接続カリキュラム(理論編・実践編)に基づいた研修を実施する。		
4	保護者・地域等の理解の促進(情報発信)	直接	保護者及び地域等へ理解を促進するために情報提供をする。		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
3	道徳教育総合支援事業	5,573 千円	4,945 千円	要求 予算案 3,485 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	道徳教育総合支援事業	直接	道徳教育の質的転換を一層図るため、学習指導要領を踏まえた多様な指導方法の開発や指導力向上のための教員研修等を推進する。		

事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
-----	-----------------	----	----------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
4	自然教育・野外教育推進事業費	1,794 千円	1,792 千円	要求 予算案 862 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	自然教育・野外教育推進事業	直接	子どもたちの「生き抜く力」を育むため、プログラム実践校において県独自の野外体験活動プログラムの研究・開発・普及推進並びに実践できる教員を育成する	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
5	教職員研修事業費	88,478 千円	72,482 千円	要求 予算案 65,171 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	教職員研修事業費	直接	教職員の資質能力を向上させるため、初任者研修等の法定研修や先進地視察等の各種研修を実施する。	
2	フロンティアスピリッツ事業 (自己啓発研修)	補助金	小・中・高等・特別支援学校の教職員が業務と関連する知識や技能を幅広く習得する取組を支援するため、旅費の一部を補助する。 補助金交付先: 県内の教員	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
6	総合教育センター研修費	21,323 千円	19,834 千円	要求 予算案 18,262 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	総合教育センター研修費	直接	学校教育の充実を図るため、教職員の資質能力の向上を目指す「長野県教員育成指標」に基づき、教職員がライフステージに応じた専門的・実践的な指導力を習得するとともに教育公務員としての使命感を高める各種研修を実施する。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
7	総合教育センター研究費	947 千円	943 千円	要求 予算案 943 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	総合教育センター研究費	直接	学校における教育活動やセンター研修講座の充実・質の向上や教育の諸問題の解決を支援するため、本県教育の今日的課題やセンターの事業に関する喫緊の課題に対応した研究調査を実施する。	